

課題4 活動内容

～活動拠点の専従スタッフの確保に向けて～

子育て中のお母さんを拠点のスタッフに

【1 現状・課題】

- ある地域では、誰でも気軽に来られて情報交換ができる活動拠点を地域内に作るため、常駐スタッフの配置を考えていましたが、人材の確保が難しい状況があります。

【2 地域におけるこれまでの取組内容】

- 地区社協の役員が、子育てオープンスペースに参加しているお母さんや幼稚園に子どもを通わせているお母さんに声をかけ、地区社協の活動拠点の常駐スタッフとして、平日の午前中に有償で協力いただいています。

▼活動拠点の様子



【3 行政等からの支援】

- 市社協が地区社協助成金(運営費)^{※1}や地区社協活動拠点活性化支援事業助成金(常駐スタッフの配置に係る経費)^{※2}を交付しています。

※1〔助成限度額〕10万円/年

※2〔助成限度額〕48万円/年(最大3年間)

【4 これまでの成果】

- 常駐スタッフの交代がある時は、お母さん仲間の中から次の常駐スタッフを紹介してもらうなど、お母さん同士のつながりにより、常駐スタッフの継続した確保につながっています。

【5 今後の更なる活性化のための取組の方向性】

- 共助の取組として地域では、常駐スタッフを継続的に確保するため、自主財源の確保を検討しています。
- 公助の取組として行政等では、令和2年度から開始した市社協の地区社協活動拠点活性化支援事業助成金について、今後、対象地区を順次増やしていきます。

他地区で展開する際のポイント

- ◎ 子育てオープンスペースを利用するお母さんなど地域活動の参加者を、拠点スタッフとして確保することが効果的です。
- ◎ 拠点スタッフのお母さんには、夏休みなどは子どもを拠点に連れてきて良いことにするなど、地域内で柔軟に考えていくことが重要です。